

チーム名	ヒガン	大学名・学部	静岡県立大学経営情報学部	焼津ステージ
プラン名称	うねっきりや〜づ 繋がる、広がる、好きになる			
テーマ	「焼津温泉」を活かした持続可能な「観光まちづくり」			
リーダー名	大石麟太郎	メンバー名	杉浦麻衣、石垣匠海、古澤悠未	
指導教職員名	八木健祥			

焼津の現状・課題 🔍

- ✓ 産業の偏り
- ✓ 源泉が有効活用されていない
- ✓ 温泉地としての認知度が低い

課題解決に向けて
既存の隠れた観光資源を活用し、
地域に根差したプランを提案

ターゲット 💡

① 焼津市民

地域活性化・観光客受け入れ風土の醸成

② 県外の若年層

若年層の情報発信力の高さをPRに活用



繋がる、広がる、好きになる / うねっきりや〜づ

① 焼津市民

温泉を利用した商品の開発 温泉サブスクの導入

- ✓ 新規商品による活性化
- ✓ 認知度向上
- ✓ 若者に地元への愛着を促す
- ✓ リピート率向上

- ・焼津在住の大学生・高校生で「焼津わかもの観光大使」を結成。塩分濃度の高さを生かした温泉商品開発
- ・焼津市内のお買い物で温泉割引キャンペーン 焼津市制が施行された3月に温泉割引キャンペーンを実施
- ・焼津の公式LINEで温泉サブスクを提供 回数券を利用した人にはオリジナル魚河岸ハンカチをプレゼント 魚河岸ハンカチの柄は市民から募集！

② 県外の若年層

温泉と既存の資源を掛け合わせ、新たな価値を創出

1. 特産品×温泉 🌙
2. 夜景×温泉 🌙
3. 海×温泉 🌊

他の温泉地と差別化をはかり、「焼津らしさ」を県外にも発信する

若者の情報発信力の高さを活用！

SNSは、流通量の少ない非都市部特有の観光・レジャー情報を発掘し発信する手段として利用されやすい

情報発信 📣

- ✓ 「焼津わかもの観光大使」がTikTokに動画投稿
- ✓ ふるさと納税の返礼品に「温泉サブスク」を！
- ✓ 焼津物産展の開催
- ✓ 「温泉×漁港」のまちで広域連携



プランの新規性

- ✓ 焼津市民のアイデアを商品開発、情報発信に活用。市民とともにまちづくり！
- ✓ 温泉サブスクで市民による認知度向上
- ✓ 誰でも温泉を気軽に楽しめる足湯の提案
- ✓ 既存資源を掛け合わせ他の温泉地と差別化、魅力度向上
- ✓ 物産展や広域連携で焼津の魅力を県外にPR

実現効果 📈

1. 市民を対象としたプランで地元愛の創出 地元愛創出で人口流出抑制！
2. 商品開発と足湯で源泉使用量増加 源泉使用量年間約18,954㎡増加
3. 既存資源を掛け合わせて魅力度向上 観光資源の価値向上、魅力度アップ
ターゲット層の宿泊観光客が3.0%増加で
経済効果 約3億900万円